



りんどう通信

2016年
7月



発行：暮らしのサポートセンター・久住「りんどう」

新たな拠点で活動しています

4月1日、市長をはじめ多数のご来賓と関係者出席のもと移転セレモニーを開催、新たな拠点で活動をスタートしました。新拠点は社会福祉協議会久住支所と同居しており、隣は支所・商工会・農協、1km圏内に病院・福祉施設・銀行・商店・警察・郵便局と日常生活に欠かせない施設が集まる便利なエリアにあります。

4月14日に定例総会を開催し、役員は監査役以外は全員留任となりました。まだまだ未熟な私たちですが精一杯頑張りますので、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。そしてその総会当日夜の激しい地震、皆様に於かれましては大丈夫でしたでしょうか？その後も余震が続き不安な日々を送ることとなりましたが、早く終息に向かうことを祈るのみです。

ところで、皆さんの記憶に新しい北海道の山中で6日間行方不明となった7歳の男児。幾つもの偶然と生命力で無事保護され感動しました。何かの記事で見ましたが、幼い頃は「手を離すな」少し大きくなったら「目を離すな」更に大きくなったら「心を離すな」と。高齢になると「手」「目」「心」は勿論のこと地域みんな「声」かけをして五感をフルに活用し、皆で安心安全な街づくりをしていけたらと思います。それにはチョット控えめなお節介が大切なのではないでしょうか。

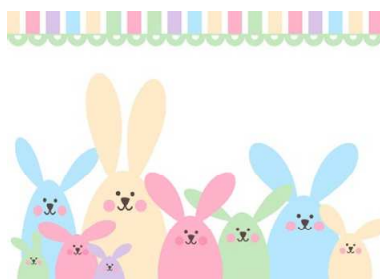


「よりそいカフェ」開催中

りんどうでは、認知症の方やその家族など、地域の方が誰でも参加し交流できる場として毎月第2火曜日と第4木曜日によりそいカフェを開催しています。開催時間は午後1時から3時までです。参加費は100円で、おいしいコーヒーやお茶菓子も楽しめます。専門職の方も定期的に参加していますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

よりそいカフェ参加者の声

- ・カフェが一番楽しい！
- ・お菓子がおいしい。
- ・みんなと会っておしゃべりできるのが嬉しいです。
- ・折り紙工作でものをつくるのが楽しいし、頭の体操になります。





おかげさまで「りんどう」は4年目をむかえました

活性化推進室長 児玉 誠三

竹田市経済活性化促進協議会では平成24年に設立した久住地区の暮らしのサポ「りんどう」を皮切りに、これまで7カ所の暮らしのサポートセンター立ち上げを支援してまいりました。いずれも地域の皆様のご理解と積極的な活動により支えられています。第1号である「りんどう」はおかげさまで各地からの視察が未だに絶えません。しかしながら、活動する会員さんの年齢も年ごとに高くなっており、新しい会員さんのご協力が欠かせない状況となっています。

暮らしのサポーター養成セミナーを開催します

活性化促進協議会では、久住地区の皆さんを対象に、7月から「暮らしのサポーター養成セミナー」を開催いたします。このセミナーは地域の福祉の実態を知ると共に、介護の基礎知識や技術を習得することを目的としており、過去の受講者から「親の介護をしたが、もっと早く知識や方法を知りたかった」や「いずれ迎える老いについて考えさせられた」などの感想を多数頂きました。セミナーを受講された方が、必ずしもりんどうの活動会員さんになる訳ではありませんが、住民同士が支え合う仕組みを理解して頂き、ご協力頂ければ幸いです。



「生活課題実態調査」にご協力を！



また、久住地区では75歳以上の高齢者を対象に、地域の皆様との協働作業による「生活課題実態調査」を実施します。この調査により地域の実態や困り事を把握し、行政や関係機関、住民との協働で、よりよい地域づくりに活かしてまいります。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

くらサポ・竹田東部「陽だまり」が設立されました

竹田・豊岡・岡本・明治の4地区の暮らしのサポートセンターとして5月19日に設立されました。これでいよいよ竹田市全域に全7カ所のくらサポが揃ったこととなります。

各くらサポが連携を取りながら活動していきます。ご利用等、お気軽にお問合せください

連絡先 (62) - 2122 活性化推進室まで



りんどうの支援員がかわりました



これまで約2年間にりんどうの支援員を務めていた志賀由季がくらサポ直入・ゆのはなへ異動となり、後任としてりんどうの担当支援員となりました、工藤美菜子と申します。この4月より支援員となった新人ですので、まだまだ久住のことは知らないことだらけですが、りんどうを盛り上げていけるよう皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

サポーターさん大募集中!!!

〒878-0201

久住町大字久住6164

☎76-0770 代表：小野 朝男

